

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

### ● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



### 警 告

- 本製品は自動車整備士資格を有する方がご使用下さい。自動車整備士資格をお持ちでない方は使用しないで下さい。
- 修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- 作業方法は整備書等を確認しよく理解して下さい。作業方法が不明な場合は使用しないで下さい。
- 異常が発生したときは、機械を起動させないで下さい。
- ご使用の前に、必ず安全な条件下で条件をお守り下さい。
- すべての機械保護装置、その他の保護手段、および全ての安全装置が設置され、適切に機能していることを確認して下さい。
- 作業場に子供等の作業に関係のない人を近づけないで下さい。
- 本製品を安全に使用する為、使用環境に合わせて、安全手袋、保護メガネ、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。
- 本機を使用するときは、常に指示、制限、警告に従ってください。
- 飲酒後や薬を服用した後、または無理をした後は、絶対に機械を使用しないでください。



### 注 意

- 危険な場所(ガソリンスタンドなど)で機器を使用する場合は、安全規制に注意して下さい。
- 爆発の危険性がある場所での操作はしないで下さい。
- 本製品に爆発性物質、爆発性ガス又は混合物が発生する場所では使用しないでください。
- 本製品は使用中チューブコイル及び加熱部分が高温になります。可燃性の物を周囲に無い事を確認してご使用ください。
- 人や動物に向けて機器を使用しないで下さい。
- 特に電源接続用リード線と延長ケーブルは、毎回運転前に機器と付属品が良好な状態にあり、安全に使用できることを確認して下さい。損傷している場合は、電源プラグを抜いて、機器を使用しないで下さい。機器の電源を切りプラグを抜かない限り本製品を放置しないで下さい。

# 序文

平素は弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。本機を最大限に活用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

この商品は、自動車用誘導加熱システムの一つです。

高周波磁場を使用して金属物体を加熱します。

ボルト、ベアリング、プーリーなど

無炎熱なので、プラスチックパネルトリムの取り外しに最適です。

## I. 安全ガイドライン

### A. 作業エリアの一般的な安全上の注意事項



すべての指示を読んで理解してください。全てに従わなかった場合

感電、火災、および/または重傷を負う可能性があります。

ホットインダクターの操作中は、傍観者、子供、訪問者、動物を近づけないでください。

これらの存在は、ホットインダクターの制御を失う原因となる可能性があります。



作業エリアを清潔に保ち、十分に照明を当ててください。

雑然とした暗い場所は事故を招きます。

雨、水、湿気の危険がない場合は、屋外で作業してください。それが不可能な場合は、内部の作業エリアを十分に換気し、乾燥した状態に保ってください。換気扇が空気を内側から外側に移動していることを確認してください。

ホットインダクター使用時は消火器を常に手元に置いてください

## B. 個人の安全に関する指示



動作中のホットインダクターから 1M以内に心臓にペースメーカーやインプラントを装着した方、その他電子機器類を近付けないでください。磁気が影響を与え誤作動や破損の原因となります。

人体に影響がある方のご使用しないでください。  
使用は周囲を十分注意してご使用ください。



ホットインダクターを操作するときは、金属製のポケットリベット、ウエストボタン、ポケットボタン、ジッパーで作られた衣服を着用しないでください。ホットインダクターはそのような金属アイテムを急速に加熱し、重度の火傷を引き起こしたり、衣服に発火したりする可能性があります。



ホットインダクターを操作する前に、衣服の中にある、コイン、金属トークン、鍵、チェーン、ポケットナイフ、小型工具、またはその他の金属物体をすべて取り外してください。ホットインダクターの使用が終了するまで、これらのアイテムを身に着けたり地近付けたりしないでください。



ホットインダクターに近付けた場合

これらの金属物体は急速に加熱され、重度の火傷を引き起こしたり、衣服に発火したりする可能性があります。

ジュエリー、指輪、時計、チェーン、識別タグ、宗教的なメダル、ベルトのバックルボディピアスの金具などの金属製の物体を身に着けた状態でホットインダクターを操作しないでください。ホットインダクターはこれらの金属物体を急速に加熱し、重大な事故を引き起こす可能性があります。火傷したり、衣服に発火したりする可能性があります。



薬物、アルコール、または薬物の影響下でホットインダクターを操作しないでください

エアバッグ から 10cm 以内でホットインダクターを使用しないでください。ホットインダクターの熱がエアバッグの推進剤に点火し、警告なしに爆発を引き起こす可能性があります。

エアバッグを操作する前に、車両のサービスマニュアルを参照してエアバッグ正確な位置を確認してください

使用する時は適切な足場とバランスが取れる場所で使用してください。

予期せぬ状況でも対応できるようにしてください。





ホットインダクターを使用するときは、必ず安全メガネを着用してください。



熱く燃えている接着剤から出る煙は有毒です。

政府部門によって承認された二重フィルター（粉塵とヒューム）マスクを着用してください。

マスクがフィットしていることを確認してください。ひげと顔

髪の毛が原因でマスクが適切に密閉されなくなる可能性があります。フィルターは頻繁に交換してください。



ホットインダクターを使用するときは、耐熱手袋を着用してください。



ホットインダクターは金属を非常に素早く加熱します。

高温の金属表面から部品を取り外そうとすると、手や指を火傷する可能性があります。

### C. 電気安全に関する注意事項



ホットインダクターを雨や湿気の中で使用したり、水に浸したりしないでください。ホッ

トインダクターを水やその他の液体にさらすと、感電の危険が生じる可能性があります。

チューブコイルを交換する前に、ホットインダクターの電源コードをコンセントから抜いてください。

電気コードが破損している場合 絶対に使用しないでください

ホットインダクターのコードを熱、油、鋭利な刃物、可動部品などから遠ざけてください。

コードが損傷している場合は、ホットインダクターを使用しないでください。

コードが損傷すると電気が発生し、感電の危険があります。

使用しないときはコンセントを 取り外してください。



CAUTION

電源コードの延長について

電源コードを延長する必要がある場合は、次の要件に従う必要があります。

長さを10メートル延長するには、ワイヤ直径2.0平方ミリメートルのワイヤを使用します。

20メートル延長する場合は線径3.0平方ミリメートルのワイヤーを使用してください。

延長コードは一度だけ接続でき、電源に影響を与えたり、接点加熱して火災を引き起こすことを避けるため、再度接続することはできません。

D. 火災安全ガイドライン

### D. 火災の危険に対する安全上の注意事項



エアゾール缶、ペイント缶、または燃料、圧縮ガス、液体の保管に使用される加圧容器を加熱しないでください。発生する熱で爆発する危険があります。

ホットインダクターにより、以下の容器が爆発し、内容物が発火する可能性があります。

絶縁が施されている場合は、加熱コイルを使用しないでください。

間違って使用し、絶縁が破壊されると、次の原因になります。

車両と接触すると火花が発生します。特にガスラインやガスタンクの上またはその近くで作業する場合に火災の危険があります。

## E. 工具の安全使用上の注意事項



ホットインダクターを放置しないでください。

ホットインダクターを修理または整備しようとししないでください。

コイルアタッチメントの交換以外にユーザーが修理できる部品はありません。

電気コードを強くねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。



WARNING

内部配線に影響を与える可能性があります。

電源ユニットに冷却用の十分な空気が供給されていることを確認してください。

電源ユニットの通気口が清潔で、ほこりや破片がないことを確認してください。



パワーユニットへの冷却空気の流れが妨げられていない事をご確認ください。

ホットインダクターを接続する前に、供給されたコンセント電圧が銘板にマークされている電圧と 10% 以内の互換性があることを確認してください。銘板に指定されているコンセント電圧と互換性のないコンセント電圧は、重大な危険やホット インダクターの損傷を引き起こす可能性があります。

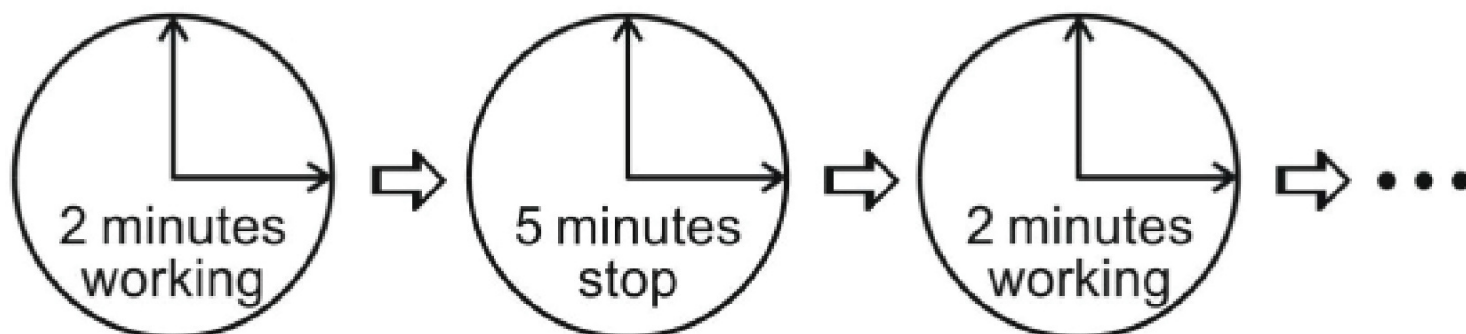
## ホットインダクター使用時間と冷却時間

ホットインダクターを使用時間を超えて使用しないでください。基板には過熱保護装置が付いていますが、電極には過熱保護がありません。

2分加熱して5分冷却して2分加熱と必ず2分加熱後は5分は冷却してください。夏場の高温の時は5分以上冷却してください。

※2分以連続加熱しないでください。

過熱保護が作動すると、LED ライトが白から黄色に変わります。



## II.本体と付属品

1.LEDライト (作業中用は白、は異常加熱の場合黄色)

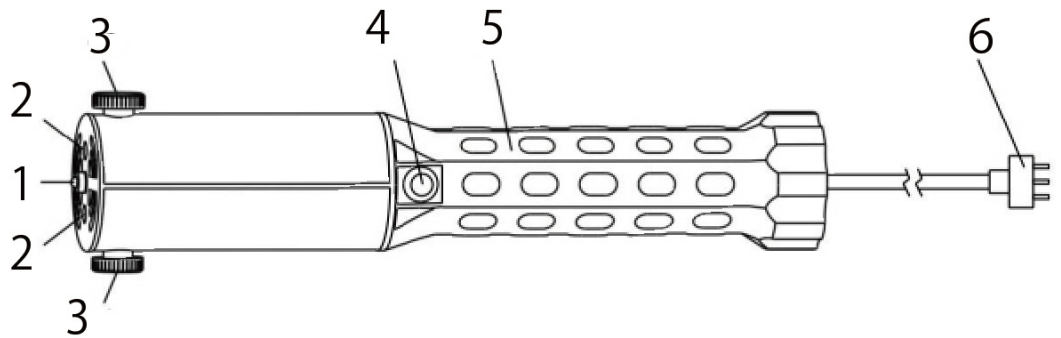
2.電極 (上)

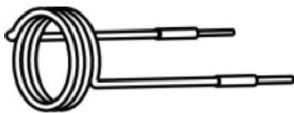
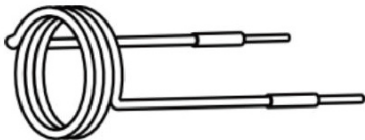
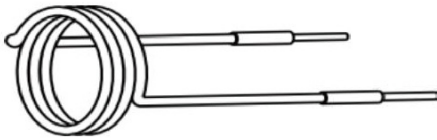

3.コイルロックネジ

4.電源スイッチ

5.本体

6.コードとプラグ



参照番号	形	説明	JTC NO.
7		チューブコイル/25mm 長さ: 24cm	JTC7231-25
8		チューブコイル/35mm 長さ: 19cm	JTC7231-35
9		チューブコイル/45mm 長さ: 19cm	JTC7231-45
10		フレキシブルコイル 長さ: 27cm	JTC7231-27L

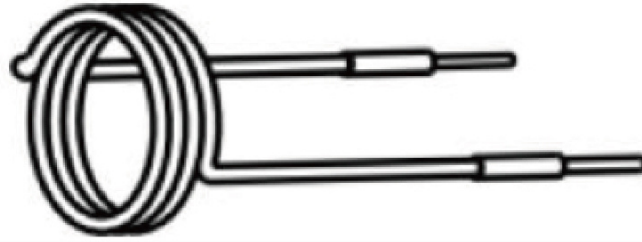
入力電圧と入力電流は本体のシールに記載されています。

## III.動作原理

コイルロックネジ(3)を緩めて作業に使用するチューブコイル(7.8.9)、  
またはフレキシブルコイル(10)を電極(2)の端に挿入してロックネジを締め固定します。  
電源コードをコンセントに接続すると、(6)電源入力接続が確保されます。  
メインユニット(5)は、ステッカーに示されている通常の電圧を昇圧します。

スイッチ(4)は、本体(5)のオン/オフを切り替えるために使用されます。押し込むと本体の電源が入ります。スイッチに圧力が加えられている限り、ユニットはオンのままになります。スイッチの圧力を解除すると電源がオフになります。

## V. チューブコイルの使用



機能: チューブコイルは、ナット、ファスナー、コーキング除去、凍結したドアヒンジ、排気マニホールドボルト、トラックの荷台下のボルト、センサー(O<sub>2</sub>)などを加熱するために使用されます。



ナット等の固着した 錆の固着を剥離します。  
熱したナットにコイルを直接接触すると  
絶縁体が焼き切れてしまいますのでご注意ください。

### 腐食、錆「固着」したナット、ボルトを3/4緩める方法

1. 「操作の準備」の手順を実行します。
2. 電源スイッチを押して、ホットインダクター をアクティブにします。
3. 固着したナットに約2秒間コイルを出し入れし、加熱しレンチかソケットで緩むか確認し緩まない場合緩むまで繰り返して下さい。

通常、ナットを必要以上に 赤く熱する状態まで加熱する必要はございません。  
熱せられたナット及び周辺部は高温になっている為充分時間をおいて  
冷ましてください。火傷や怪我、破損等の危険があります。

## VI. フレキシブルコイルの使用



機能: フレキシブル コイルは、前述のコイル作業、カスタム部品の除去等コイルを変形させ 使用できます。

### A. 腐食、錆び、「固着」したナットとボルトを緩める

1. 使用例) 固着したナットに使用する場合
2. 固着したナットのソケット部分にコイルを巻き付けて、そのナットのサイズに合わせてコイルを成形させます。ナットに接触しないように注意してください。  
※:コイルの巻き数が多いほど、より速く加熱できます。
3. フレキシブルコイルを固着したナットの周りに巻き付けます。コイルを本体に固定します。最初は2秒程加熱しレンチまたはソケットを使ってナットを緩めます。  
まだ 固まっている場合は、フレキシブル コイルをさらに2秒間加熱し  
レンチまたはソケットを使って試してください。

## B. 小さな凹みの補修にフレキシブルコイルを使用する場合

※あくまで使用例です。作業には钣金技術及び修正する素材の変化等を十分理解された方が作業を行ってください。



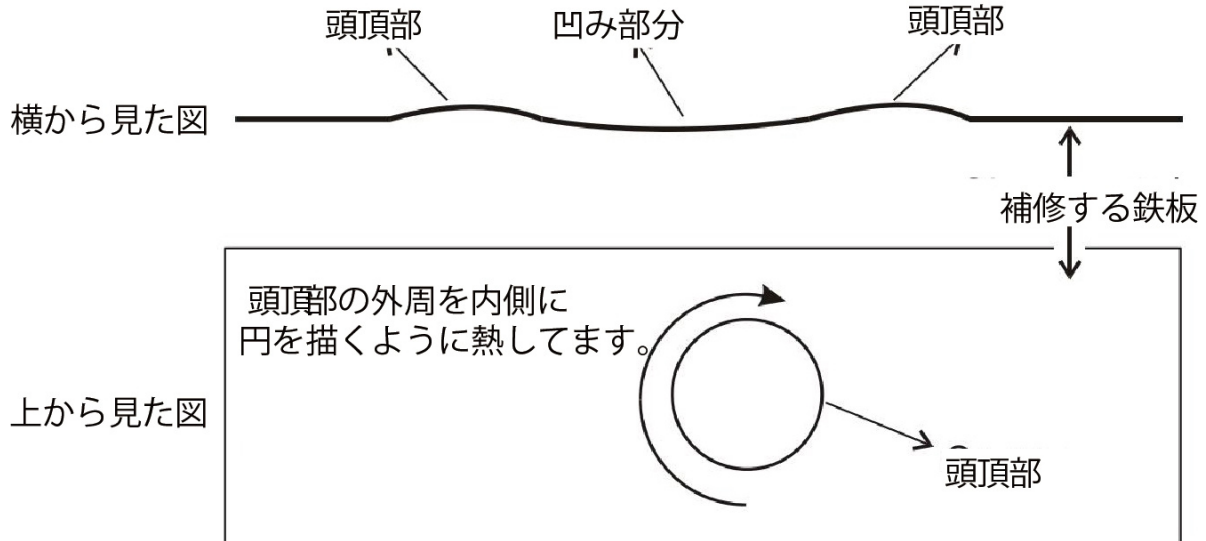
1. 右の図のようにコイルを構成します。

2. フレキシブルコイルを凹みの頭頂部の1.5~3cm上に離れた状態で頭頂部の外側の周りに小さな円を描くように動かし、徐々に凹みに近づけます。ただし、凹みが縮んだら、すぐにフレキシブルコイルを離して熱した部分に水で湿らせたウエスで冷やします。

凹みが広がるだけの場合頭頂部が熱せられてない場合や、凹み部分との距離が近い場合があります。

完全に除去されるまで手順を繰り返します。

※補修周辺部も高温になりますので十分に注意して作業を行ってください。



※：へこみから煙が出たら、すぐにフレキシブルコイルの使用を中止してください。  
塗装されている場合 塗料が泡立ち始めます。白や淡い色にも注意してください。

注意：凹みが縮まない場合は、金属にシワがあるか亀裂が入っている場合がありますので十分確認して作業を行ってください。



# 11. お手入れ方法

## A. 適切な洗浄方法

1. 機械の電源が切れ、電源プラグが抜かれていることを確認し、機械の表面や配線に付着した潤滑油や油汚れなどの汚れを、ベタつかない清潔な布や乾いたペーパータオルで拭き取り、収納ボックスに入れます。
2. 油性の汚れの場合、通常は洗浄が困難ですが、この場合は、車の洗浄に使用される不揮発性洗剤を使用して洗浄し、完全に乾燥してから保管ボックスに入れます。

## B. 不適切な洗浄方法

1. 洗浄のために機械のどの部分も水に浸さないでください。
2. スプレーや水を流して機械を掃除しないでください。
3. ガソリン、ベンジン、灯油、ワセリンクリーナー、ディーゼル、メチルなどの有機溶剤を使用して機械を掃除しないでください。  
火災の原因になったり、電子部品やプラスチック部品が損傷する可能性があります。
4. ガン、ヒートガン、電子レンジ乾燥機などは使用しないでください。

## IX. トラブルシューティング

1. ホットインダクター本体は一定の温度に達すると、機械の焼損を防ぐために、熱を放散するために加熱を停止します。これは正常な現象です。  
冷却ファンが動作するようにマシンが接続されていることを確認します。  
通常の状態では、数分間連続して動作すると本体が過熱し、熱を放散するために約3分間シャットダウンします。シャットダウン後は、ファンが動作して熱を放散するため、電源プラグを抜かないでください。  
自動的に通常の動作を再開します。
1. 機械の動作表示灯は点灯しているが、加熱効果が悪い場合は、延長コードが長すぎて細いため、電力供給が不十分である可能性があります。通常、延長コードの長さは8メートルであり、電源コードの直径は2.0mm<sup>2</sup>、延長コードの長さは15メートル、電源線の直径は3.0mm<sup>2</sup>である必要があります。

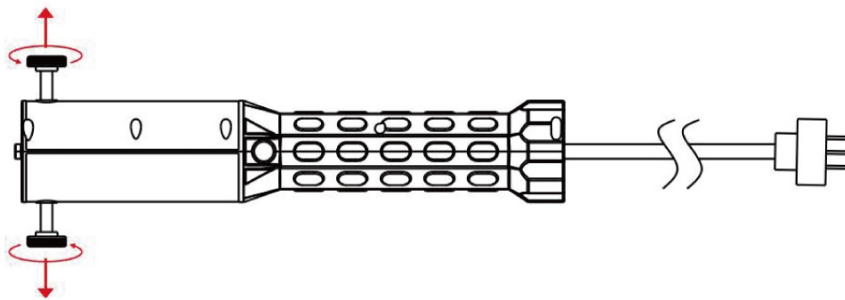
### 11. 分解と保管

加熱して使用後は加熱コイルを分解する前に、加熱コイルの動作を停止し、30分以上冷却してください。  
高温のまま保管すると機器の破損、火傷や火災の原因となります。

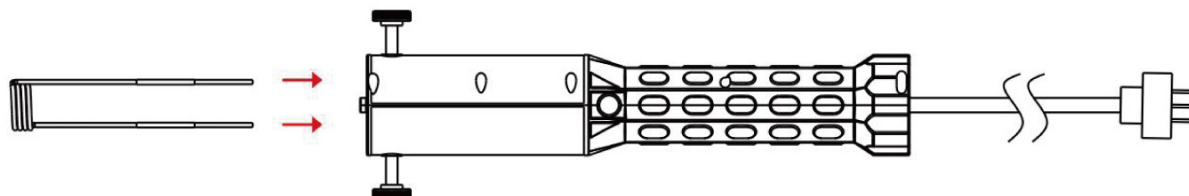
1. 作業が終わったら、手を離して電源を切ります。  
電源スイッチを押して内部ファンが停止していることを確認してください。
2. サービスコンセントまたは延長コードからプラグを抜きます。
3. ユニットとコイルを収納ケースのフォームの切り欠きに置きます。

# 基本操作

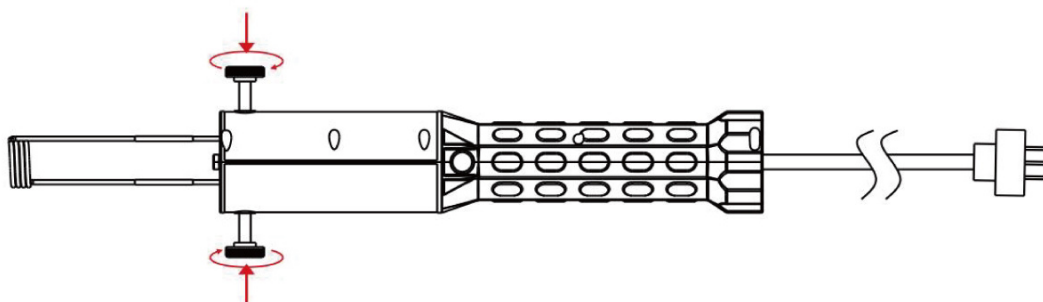
1. ノブを緩めます。



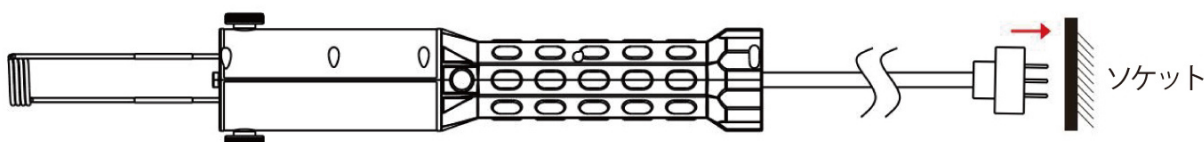
2. コイル脚を穴に差し込みます。



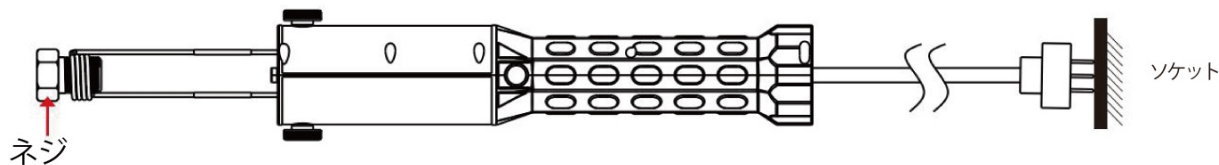
4. ノブを締めます。



5. ソケットを差し込みます。



6. 加熱するネジをコイルの内側に差込みます。



7. 加熱ボタンを押します。

